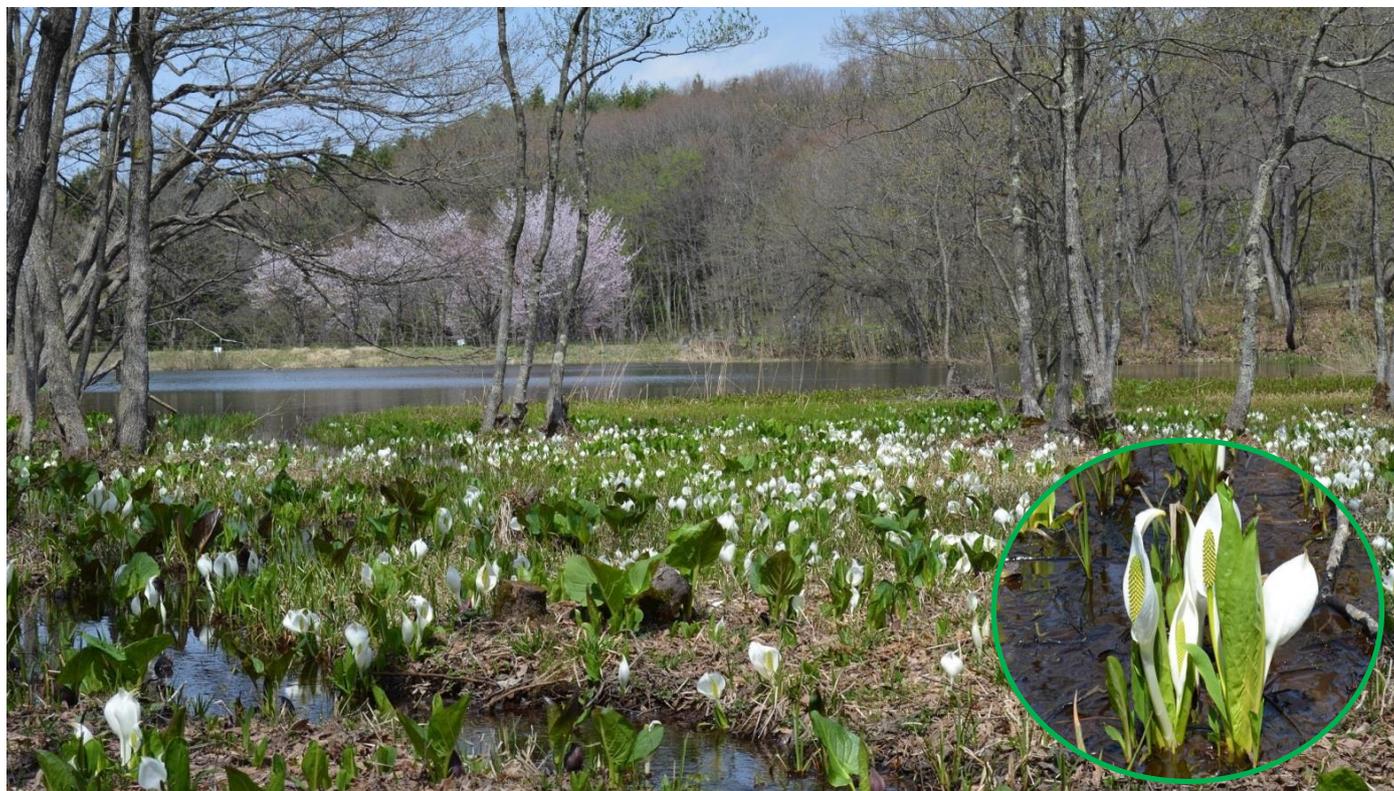


各 位

平成29年4月15日
山形市野草園 : 山形市大字神尾 832-3
電話 023-634-4120

山形市野草園からのお知らせ



野草園の湿地に群生するミズバショウ（前年の4月下旬に撮影）

ミズバショウ(サトイモ科)

ミズバショウの白いものは葉の変形した仏炎苞、その中の黄色いものが花の集まりの花序です。バショウとはバナナの仲間で、葉の長いものは2mにもなります。ミズバショウの葉も花後は80cm位になります。バショウの葉に似て、水辺が大変好きなのでミズバショウです。

今年は雪解けが遅かったために、早春の草花たちの開花が例年より1～2週間程遅いです。しかし野草園のシンボルであるミズバショウは咲き始めました。野草園の中央にある広い湿地「ミズバショウの谷」に、ミズバショウとザゼンソウが一面咲き誇ります。その両方を見ることができるのがこの野草園の特徴です。これから早春の草花たちが咲き誇ります。キクザキイチゲやカタクリ、ショウジョウバカマなどが林の下に群生します。そして、園内のオクチョウジザクラや、オオヤマザクラももうすぐ咲き始めます。これから野草園はよりたくさんの花が咲き、散策の楽しい季節になります。

4月後半から5月上旬の予定

最大のイベント「春の野草園祭り」が5月3日（水）～5月7日（日）の5日間開催されます。子供たちも大人たちも楽しめる催し物を準備しています。ご家族、友達、親しい仲間でご来園下さい。

◆4月第3月曜から6月第2月曜まで無休で開園します。

◆【ガイドウォーキング】

○日 時 4/16（日）、22（土）、23（日）、4/29（土）、30（日）、5/3～7の連続5日

①10:00～11:00 ②11:00～12:00 ③13:00～14:00 ④14:00～15:00

○場 所 野草園内全域

○内 容 ボランティアガイドと一緒に園内を散策します。申し込み不要、その場で参加できます。もちろん無料です。見どころの花の場所に案内し、その花の説明もしてもらえます。

◆【健康ウォーキング講座】 4/29(土) 10:00~11:30

○講 師 市健康づくり運動普及推進協議会

○内 容 自然に癒されながらウォーキングやストレッチの方法を学ぶ。

○対 象 事前申込み先着30人

○参加費 無料(入園料別) ○持ち物 飲み物、歩きやすい服装

○申込み 電話で野草園まで TEL023-634-4120

◆【山野草販売】 4/29(土)~5/5(木)の9日間

★ 5月3日(水)~5月7日(日) 春の野草園祭り ★

※野草園の入園料は大人300円、高校生以下は無料。(イベントはすべて無料です)

◆5/3(水)

○「餅の振る舞い」 … 11:00~なくなり次第終了

大曾根餅つき保存会による実演と体験餅つき、試食

◆5/4(木) —**無料開放日**— (どなたでも入園料は無料です。)

○「瀧山太鼓演奏」 …11:00~11:30、自然学習センター前の広場で瀧山太鼓保存会による勇壮な演奏を披露します。

◆5/5(金)

○「乗馬体験」…子どもはポニーに、大人はサラブレッドに乗って広場のコーナーを一回りします。毎回大人気です。 ①10:00~12:00 ②13:00~15:00 (雨天中止)

*ポニー、サラブレッドそれぞれ先着100人、当日に整理券を配布します。

○「ウサギふれあいコーナー」 … ウサギ5羽と自由に触れ合えます。

①10:00~12:00 ②13:00~15:00

◆5/6(土)、7(日)

○「ミニ新幹線運行」… ①11:00~12:00 ②13:00~15:00 (雨天中止)

中央広場で運行。お子さんと一緒に乗ってみませんか。

◆5/7(日)

○「乗馬体験」 …内容は5日と同じ。

◆5/3(水)~5(金)

○「春の山野草展」 …自然学習センター内に鉢植え山野草を展示します。

○「山形まるごと市」 …料金所横で山形の特産品などを業者が販売します。

◆【四季観察会(西藏王の桜)】 5/10(水) 10:00~15:00

○場 所 野草園から羽竜沼まで

○講 師 植物案内ボランティア 志鎌節郎 氏

○対 象 事前申込み先着20人

○参加費 資料代100円(入園料別)

○持ち物 昼食、雨具

○申込み 電話で野草園まで TEL023-634-4120

●●●4月後半に見られる主な花たち●●●



ザゼンソウ(サトイモ科)

ミズバショウよりも一足早く、顔を出しました。花序(小さな花の集まり)の様子が、座禅をしている僧のように見えるためこの名があり、別名ダルマソウとも言われています。紫褐色の花弁に見えるものは、仏炎苞と言われ葉が変形したものです。中の頭のような楕円形の部分が花序です。



リュウキンカ(キンポウゲ科)

黄色(金色)の花が、立った茎に咲くので「立金花」と言われています。湿地や沼地に生える多年草で、葉はフキのようなまるい形をしています。黄色の花のように見えるのは、花弁状の萼片で、花弁はありません。「クリンソウの谷」の小川に咲き始めました。少しずつ増えていきます。



ショウジョウバカマ(シュロソウ科)

春いち早く咲く常緑多年生の草本です。葉は地表に広がってロゼット状になり、花茎の先に数個の花を横向きにつけます。花は淡紅色から濃紅紫色まであります。花後も緑色になって残ります。名前の由来は、花を能楽の「猩々」の赤頭の毛に例え、葉を袴に見立てたものと言われています。



アスマイチゲ(キンポウゲ科)

イチリンソウのなかまで、春の短い期間だけ咲いて、初夏には枯れてしまいます。キクザキイチゲと似ていますが、葉に切れ込みが少なく、肩を落としているように垂れ下がっていることで、見分けることができます。花弁状の萼片は白色で基部と裏側は少し紫色を帯びています。主に東日本に多く分布しイチリンソウ(イチゲ)の仲間なので名がついています。



キクザキイチゲ(キンポウゲ科)

まわりの木々が葉を茂らせる前にいち早く咲き出します。名前からもわかるように、花弁状の萼片が多く、葉も切れ込みが多く、キクの花に似ています。花色は多彩で淡紫青色から白色までいろいろあります。日が当たると花を開き、曇ると花を閉じてしまいます。



サンシュユ(ミズキ科)

中国原産の落葉高木で、江戸時代に薬用植物として渡来しました。秋に赤く熟す果実の果肉を乾燥したものを強壯、強精などの薬用にしたり、果実を果実酒にします。葉が開く前に淡黄色の小さな花を沢山つけます。花弁は4個で長さ約3ミリで先はとがりそり返っています。春黄金花、秋珊瑚ともいわれます。「吉林の庭」で咲いています。



イワウチワ(イワウメ科)

常緑の多年草で、岩地に生え、葉がうちわに似るのでこの名があります。イワウチワの葉は、質が厚く光沢があり、長さより幅が広いのが特徴です。葉の間から花茎を立てて、1茎に1花をつけ、花は横向きを開き、淡紅色で先が細かく切れ込んでいます。



カタクリ(ユリ科)

カタクリは、1枚の細長い葉から平たい葉になって、2枚の葉を出すようになると花を開きます。種子から開花まで7年もかかるそうです。カタクリの花は淡紅紫色で、花びらのもとに濃紫色のW字形の模様があり、上の方へ大きくそり返ります。カタクリのでんぷんから採ったものが本物の片栗粉です。



キタコブシ(モクレン科)

冬には長い軟毛におおわれた花芽がたくさんついています。春になると白い花を枝いっぱいにつけてくれます。花弁は6枚あり、花の下に小形の葉が一枚つきます。これが他のモクレン科の花との違いです。花芽や花を見ても名前の由来は分かりませんが、秋に実る果実をみるとよく分かります。果実が「握りこぶし」に似ているのです。



アカヤシオ(ツツジ科)

春、まわりの木々が芽吹く前に、ピンク色の花がひときわ目立ちます。枝分かれが多く、花と葉は別々の芽に入っていて、葉が開く前に枝先に淡紅紫色の広い漏斗状で5裂し、雄しべ10個の花をつけます。葉は、広楕円形で先はとがり、葉柄や葉縁に2mmをこえる毛が生えています。そして枝先に5枚輪になってつきます。

—4月下旬頃に咲きます—



エゾムラサキツツジ (ツツジ科)

自生地は北海道では、5月に開花するそうですが、本園では、最初に咲くツツジの1つです。ツツジの仲間は花の美しいものが多く、庭木、生け垣、盆栽、公園樹などにされます。枝先の花芽から紫紅色の花を開きました。葉も枝先に集まってつき、半常緑樹でやや革質、葉先はくぼんでいます。ロックガーデンを少し登った所で、きれいに咲いています。



ジュウガツザクラ (バラ科)

観賞用として普通植えられている落葉性のコヒガンザクラの園芸品種です。通常小木で樹皮は暗灰褐色で若枝、葉、葉柄などに毛があります。葉は互生し、倒披針形で質はやや厚いようです。花は淡紅白色で八重咲きです。名は十月桜で秋(10~11月)に開花するからです。野草園では冬には休んで、4月にまた咲き始めます。



オクチョウジザクラ (バラ科)

太平洋側のチョウジザクラに対して、日本海側に分布するサクラです。花の萼筒が長く、少しふくらみます。横から見ると丁字形をしているのが名前の由来です。花は最初は白っぽく、花の終わりには赤っぽくなります。ロックガーデンで多く咲いています。園内ではジュウガツザクラに次いで早く咲きます。



オオバクロモジ (クスノキ科)

低い山や林の斜面に分布します。若い枝は始め毛がありますが次第になくなり、緑色のすべすべした肌に黒い斑紋が出てくるのが特徴です。古くなると次第にざらついた灰色の樹皮に覆われます。花は黄緑色で、とがった葉芽を包むように咲きます。葉や枝に芳香があるのも特徴です。



オオヤマザクラ (バラ科)

東北地方や北海道に多く、それ以外の地域ではやや標高の高い山地に生えています。ヤマザクラよりも葉や花が大きいことが名前の由来です。赤っぽい色をした若葉が開くと同時に淡紅色の花を咲かせます。花色はヤマザクラより濃いです。小花柄は無毛で花柄はありません。6~7月に果実をつけ、葉は夏には暗い緑色に変化します。